

令和元年度事業計画（案）

1 岩手県脳卒中予防県民会議総会

(1) 日 時

令和元年 7 月 12 日（金） 13 時 00 分～13 時 20 分

(2) 場 所

いわて県民情報交流センター アイーナ 8 階会議室 804A

(3) 内 容

- ・平成 30 年度事業報告について
- ・令和元年度事業計画（案）について
- ・岩手県脳卒中予防県民会議の運営について

2 岩手県脳卒中予防県民大会 2019 の開催

(1) 日 時

令和元年 7 月 12 日（金） 13 時 30 分～16 時 00 分

(2) 場 所

いわて県民情報交流センター アイーナ 7 階 小田島組☆ほーる

(3) 内 容

特別講演：『健康な長寿を目指して』

前 厚生労働省 健康局長 宇都宮 啓 氏

基調講演：『“あたる” ってなに？ 脳卒中にならないために』

岩手医科大学 神経内科・老年科 大浦 一雅 氏

健康寸劇：「キラりん一座」による脳卒中予防寸劇

キラりん一座（一関市）

総合司会：古舘友華アナウンサー（テレビ岩手）

(4) 関連イベント

- ・各種健康管理機器による血圧測定、血管年齢計（BCチェッカー）

岩手県国民健康保険団体連合会

- ・関係団体等によるブース設置

岩手県栄養士会、全国健康保険協会岩手支部、岩手県予防医学協会、岩手県

味噌醤油工業協同組合、大塚製薬、ポッカサッポロフード&ビバレッジほか

3 広報・啓発事業

(1) 県広報媒体による情報発信（県）【継続】

県政番組等を活用した「脳卒中予防」や「脳卒中週間」の周知広報を実施

(2) 会員広報誌等による広報・啓発（協会けんぽ岩手支部・県）【継続】

協会けんぽ岩手支部で発行している広報誌「ハピネス」や納入告知書同封チラシ、メーリングリストなどで脳卒中予防、生活習慣病予防など健康づくりに関する情報を掲載し、加入している約 19,000 事業所等に対し情報発信

(3) 岩手県民健康応援キャンペーン 2019（岩手日報社）【継続】

～健康経営推進と脳卒中予防で健康長寿日本一へ～

社会全体として個人の健康を支え、守る環境の整備が求められることから、岩手日報社では行政や関係機関・団体と協働し、県内企業の健康経営推進と県民の健康づくりを支援するキャンペーンを展開

・キャンペーン PR 展開（平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月）

(4) 健康経営セミナー（岩手日報社・アクサ生命保険）【継続】

・期 日：令和元年 12 月上旬

・会 場：サンセール盛岡（予定）

(5) 共催・後援（県）【継続】

会員等が主催する脳卒中予防、健康づくりに関するイベント、セミナー等の共催・後援

(6) ホームページによる情報発信（県）【継続】

・県民会議及び会員の活動等についてインターネットで広く情報発信

・いわて健康データウェアハウス事業による県民の健康に関するデータを提供（岩手県環境保健研究センター）

4 食生活改善事業

(1) 「いわて減塩・適塩の日」普及促進（県・保健所・会員）【継続】

毎月 28 日の「いわて減塩・適塩の日」の一層の普及を図るため、県内スーパー等で減塩メニューの試食やメニューの配布などを実施するとともに、街頭や健康づくりイベント等、地域住民が多く集まる場所でキャンペーン活動を実施

【いわて減塩・適塩の日】

県民一人ひとりが塩分摂取と健康について考え行動する日として、平成 27 年 7 月から毎月 28 日を「いわて減塩・適塩の日」に設定した。

(2) 減塩リーダー養成講習（保健所）【継続】

管理栄養士、養護教諭、調理師、学校等の食育担当者、食生活改善推進員、保健推進員、事業所等の衛生管理者等を対象に、脳卒中予防のための減塩活動ができる必要な知識とスキルを修得した「減塩リーダー」を養成する講習会を開催

(3) 減塩・野菜たっぷりヘルシーメニュー推進事業（保健所）【継続】

小・中学校の児童生徒の保護者、高等学校の生徒、事業所で働く従業員等を対象に、将来の高血圧症や脳卒中の発症予防のため、適正血圧を維持するための食生活について健康教育講座や調理実習等を実施

(4) 外食栄養成分表示登録店の店舗拡大（保健所）【継続】

外食時でも栄養バランスのとれた食事ができるようカロリーや塩分を表示したメニューを提供する飲食店、弁当・惣菜店等の登録を推進

(5) 適塩習慣定着促進事業～突撃シリーズ第 2 弾～ 1 日食塩摂取調査による減塩ステップアップ事業（岩手県食生活改推進員団体連絡協議会）【継続】

朝 1 番の尿により前日 1 日分の食塩量を測定できる「減塩モニタ」を活用し、地域住民への突撃訪問による 1 日食塩摂取量調査を実施（公益財団法人いきいき岩手支援財団「いわて保健福祉基金助成金」を活用）

5 健康運動事業

(1) プラス 2000 歩実践企画の募集（県）【継続】

各ライフステージにおける歩行数の増加に向けた「プラス 2000 歩実践企画」を広く募集し、県民への周知や具体的な施策反映の検討を実施

(2) 健康運動指導者講習会の開催（県）【継続】

健康運動指導士及び健康運動実践指導者の資質向上を図るための健康運動指導者講習会を開催

(3) 県民の健康づくりのための各種イベント等の共催・後援（県）【継続】

「いわて健康ウォーク」等の各種健康運動イベント等の共催・後援

6 禁煙事業

(1) 職場の受動喫煙防止対策の促進（保健所）【継続】

保健所で企業・事業所を訪問し、受動喫煙防止対策が進んでいない職場に対策の促進を働きかけ

(2) 禁煙サポートの推進（県）【継続】

検診機関など、地域の身近な医療資源を活用して、禁煙に取り組もうとする希望者に禁煙補助剤の配布等により禁煙継続を支援

7 その他

(1) 県民主体の健康度アップ支援事業の実施（県）

企業の健康経営を支援するため、県内 25 企業の従業員を対象とした民間スキルによる歩行数増加を主とした健康づくりへのチャレンジマッチを実施

県内 4 広域単位での「健康的な食事推進マスター」（管理栄養士、保健師等）の養成及び健康的な食事提供事業者（県内 3 事業者）を育成

(2) 健康経営の取組の促進（県）【継続】

健康経営の取組を推進するため、関係団体等と連携し、いわて健康経営事業所認定制度を普及するとともに、表彰制度を創設

(3) 県民会議会員の拡充（県・保健所・会員）【継続】

県民への脳卒中予防及び健康づくりの普及啓発を推進し、各事業や会員の自主的な取組との連携を図るため、企業・団体等に対して脳卒中予防県民会議への新規参加の働きかけ

(参加団体・企業数)

設立時（平成 26 年 7 月）	103
平成 31 年 3 月 31 日現在	527
令和元年度目標	545